

■大会要項

第32回春の全国小学生ドッジボール選手権
北海道大会

1 大会名 第32回春の全国小学生ドッジボール選手権 北海道大会

2 日時及び会場

○第32回春の全国小学生ドッジボール選手権 北海道大会 1日目
・小学生部門 全国予選の部 ・小学生部門 エンジョイの部
日時:2023年1月21日(土)
会場:北海道立野幌総合運動公園体育館(江別市西野幌481)

○第32回春の全国小学生ドッジボール選手権 北海道大会 2日目
・小学生部門 ジュニアの部 ・中学生部門 ・一般部門
日時:2022年1月22日(日)
会場:北海道立野幌総合運動公園体育館(江別市西野幌481)

〈共通〉

開場:8時40分(それ以前の入館は不可)

受付:8時40分から9時00分

競技開始10時00分

3 主 催 北海道ドッジボール協会

4 大会区分・出場資格

- (1)登録選手全員が傷害保険(スポーツ安全保険)に加入していること。
- (2)所定の手続きを期日までに完了していること。
- (3)成人の代表者、引率者がいること。
- (4)小学生部門 全国予選の部出場チームは一般財団法人日本ドッジボール協会(以下「日本協会」とする)公認審判員2名以上を運営審判として、参加申込書に氏名を記入し提出すること。(2名以上の協力が困難な場合は、その理由を大会申し込み用紙の備考欄に記入すること)

第32回春の全国小学生ドッジボール選手権北海道大会1日目(2023年1月21日(土))			
部門	出場資格	登録人数	試合人数
小学生部門 全国予選の部	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022年4月現在、小学校3～6年生男女対象。 3年生単独不可 2022年度、日本協会D1登録チーム。 ③日本協会ユニフォーム規程に則ったユニフォームを着用できるチーム。 ④ベンチ入りする役員は、全員が日本協会公認指導員資格を登録し保有していること。 ※③及び④に関しては、大会時審判員の確認がある。 	12名 ～20名	12名
小学生部門 エンジョイの部	2022年4月現在、小学校3～6年生の男女対象。 3年生単独不可	8名 ～20名	8名

第32回春の全国小学生ドッジボール選手権北海道大会 2日目(2023年1月22日(日))

部門	出場資格	登録人数	試合人数
小学生部門 ジュニアの部	2022年4月現在、小学校1～3年生男女対象 ※使用球「ミカサ製 MGJDB-L」 1年生単独不可	8名 ～20名	8名
中学生部門	2022年4月現在、中学校1～3年生男女対象 ※使用球「ミカサ製 DB350B-YLB」	8名 ～20名	8名
一般部門	中学生から社会人の男女対象 ※使用球「ミカサ製 DB350B-YLB」	8名 ～20名	8名

※全国予選の部以外の部門に出場するチームは、各チームゼッケン(ビブス)を用意すること。

ゼッケンの用意が困難なチームには、北海道ドッジボール協会(以下「北海道協会」という。)所有のゼッケンを貸与する。

※各部門参加チームが3チーム未満の場合は該当部門を中止する場合がある。

5 全国大会出場権

全国予選の部で優勝したチームは、2023年3月26日(日)石川県で開催される全国大会への出場権を獲得する。

6 チーム編成及び選手の重複登録について

(1)「小学生全国予選部の部」と「小学生エンジョイの部」との重複登録は可とするが、重複試合出場は不可とする。

(2)「小学生部門全国予選の部」又は「小学生部門エンジョイの部」と、「小学生部門ジュニアの部」との重複登録及び重複試合出場は、3年生に限り可とする。

(3)重複で試合に出場する選手のいるチームを考慮し、試合開始時間の調整、試合間隔の調整、大会当日の試合順序の変更等は一切行わない。
重複出場選手を含め試合人数での登録の場合、その重複出場選手が一方の試合に出場中のため、もう一方の試合に出場できない場合、不完全チームとなりその試合はルールに則り敗者となる。

7 申込方法

(1)全国予選の部

ア 日本協会ホームページ、JDBAチームサイトより、チーム・役員・選手登録を行うこと。

イ 日本協会へチーム登録を行い、登録料を入金すること。

ウ 登録料を入金後、日本協会ホームページ、JDBAチームサイトより大会エントリーを行うこと。(1)の登録作業を完了し登録料を入金し承認を得ないと、大会エントリーはできないので注意すること。入金から承認まで10日前後かかるので注意すること。

エ 北海道協会ホームページより、参加申込書を出力し、必要事項を記入のうえ、北海道協会事務局へメール送信若しくは郵送すること。

オ 北海道協会へ参加料を入金すること。

(2)全国予選の部以外の部門

ア 北海道協会ホームページより、参加申込書を出力し、必要事項を記入のうえ、北海道協会事務局へメール送信若しくは郵送すること。

イ 北海道協会へ参加料を入金すること。

8 参加料

全部門 登録選手1名につき1,000円

9 振込先 北海道銀行本店 普通預金口座1809003

口座名「J. D. B. A北海道ドッジボール協会」

10 申込締切

(1) 各部門の参加申込書及び参加料はいずれも、**2022年12月16日(金)17時必着**とする。

11 監督会議 大会当日 9 時 30 分

12 表彰

- (1)全国予選の部は優勝・準優勝・3 位を表彰する。
- (2)入賞チームは写真撮影を行うため、閉会式終了後、会場に残ること。

13 日本協会公認指導員

全国予選の部出場チームのベンチ入りする役員は、全員が日本協会公認指導員であること。

そのうち1名以上は日本協会公認 B 級指導員資格を有していること。

14 審判員協力

- (1)本大会は、チーム協力による運営審判制で行う。

15 競技規則

- (1)日本協会公式ルール及び本大会申し合わせ事項に則り運営する。
- (2)予選リーグの組み合わせは、北海道協会競技委員会の責任抽選とする。

16 競技方法

- (1)試合は予選リーグを経て、決勝トーナメント方式で行う。
- (2)予選リーグは勝ち点制を採用して順位を決定する。
 - ア 勝ち点は、勝ちを2点、引き分けを1点、負けを0点とする。
 - イ 勝ち点の合計が同じ場合は、該当チーム間で以下(ア)、(イ)、(ウ)の順により順位を確定する。
 - (ア)リーグ戦スコアの味方内野人数の合計が多いチームを上位とする。
 - (イ)リーグ戦内での直接対決の勝者を上位とする。
 - (ウ)リーグ戦スコアの相手内野人数の合計が少ないチームを上位とする。
- (3)今大会はランニングタイムによる時間制限を設け、次の通り試合を行う。
 - ア 小学生部門全国予選の部及び小学生部門エンジョイの部、中学生部門、一般部門
予選リーグ、決勝トーナメントは5分1セットマッチ。準決勝戦・決勝戦は5分3セットマッチ
 - イ 低学年部門
予選リーグ、決勝トーナメントは4分1セットマッチ、準決勝戦・決勝戦は4分3セットマッチ
- (4)3セットマッチの試合については、各セット間に2分以内のインターバルを設けその時間をタイマー計測するので、その時間内にセットアップまで完了すること。
- (5)決勝トーナメントはセット毎に勝敗を決定し、セット終了時内野人数が同数の場合、ヴィクトリーポイントゲームを行う。セット終了時のままジャンプボールで再開、最初にアウトを取ったチームが勝利を得る。
- (6)ボールは小学生部門全国予選の部及びエンジョイの部は、モルテン製(D3C5000-L)及びミカサ製(MGJDB-L)公認試合球を使用する。小学生部門ジュニアの部、中学生部門及び一般部門は、「4 大会区分・出場資格」に記載のボールを使用する。
- (7)各部門のコートサイズは以下のとおりとする。
 - ア 小学生部門全国予選の部及びエンジョイの部 :内野 10m×10m、外野 3m幅
 - イ 小学生部門ジュニアの部:内野 8m× 8m、外野 3m幅
 - ウ 中学生部門及び一般部門:内野 11m×11m、外野 3m幅
- (8)競技規則、競技方法は変更する場合がある。その際は、監督会議等で周知する。

17 選手入退場

- (1)選手整列は、1セットマッチはセンターラインを挟んで整列とする。3セットマッチはベンチ前整列で行う。
- (2)セットアップコール後は速やかに配置すること。
- (3)選手は挨拶終了後、ベンチに戻らず選手出口へ駆け足で移動すること。
- (4)監督は挨拶終了後、スコアカードの記載事項を確認の上、持参したボールペンで署名し、ベンチを速やかに空けること。

18 選手待機及びゼッケンの着脱(協会貸与ゼッケン使用チームのみ)

- (1)自チームの試合の1試合前には、ゼッケンを着用し選手待機場所で待機すること。
- (2)ゼッケン番号は、メンバー表どおりに着用すること。
- (3)協会より貸与した際は終日チームにて管理する。
- (4)ビブス置き場は設置しない。
- (5)大会終了後、洗濯して事務局に返却すること。

19 留意事項

- (1)大会出場メンバーは変更できない。
- (2)監督(成人)、コーチ、マネージャーは各 1 名までとし、退場、失格及びその他事由によりベンチに成人が不在となった時点で、そのチームを不完全チームとみなし、その試合を不戦敗とする。
また、全国予選の部においては、ベンチに日本協会公認 B 級指導員が不在となった場合も、その試合を不戦敗とする。
- (3)競技エリア内に入ることができるのは、監督(成人)、コーチ、マネージャー及び登録選手のみとする。
- (4)審判員に対し、抗議およびアピールはできない。当該行為は指導・警告・退場の対象とする。
- (5)アリーナ入口前及び通路でのミーティングやアップは禁止とする。また、その他の場所でミーティングを行う際も通行の妨げとならないようすること。
- (6)ベンチ内は給水及び飲食禁止とする。3セットマッチのみ給水を認めるが、フロアを汚さないようにすること。また、メガホン類などの持ち込みは禁止とする。

20 その他

- (1)試合中、負傷など治療が必要な場合、監督は緊急プレイヤーとの交代を即決すること。
- (2)監督、コーチ、マネージャー及び控え選手は、オフィシャルからの許可がない限り、プレイヤーズベンチから離れず、プレイ中も動き回らないこと。テクニカルファールの対象となる。
- (3)相手を威嚇、中傷及び挑発する言動は、テクニカルファールの対象となる。
- (4)天候等の理由により、参加チームが2分の1以上集まらない場合は、大会スケジュールの変更や大会を中止する場合がある。
- (5)大会当日、受付時間に遅れると出場資格を失う場合がある。
- (6)大会参加にあたっては、健康管理に充分留意すること。競技中に選手が負傷した場合、主催者は責任を負わないものとする。また、会場までの往復中の事故等についても同様とする。
- (7)プラカードを作製し持参すること。【横60cm・高さ20cm・柄の高さ90cm以内】
- (8)A1のチームは、開会式で選手宣誓を行うこととする。事前に要指導のこと。
- (9)必ず成人責任者か保護者が引率すること。引率者不在の場合は棄権とする。
- (10)喫煙は、指定場所(屋外)にて、**必ず**外靴に履き替えて行うこと。
- (11)本大会で撮影した写真・映像は大会に関する広告宣伝等に使用する場合がある。
- (12)閉会式を欠席するチームは、必ず大会本部に申し出ること。
- (13)本大会は新型コロナウイルス感染防止の為、人数制限を設けます。各チーム保護者 15 名(帯同審判 2 名を含む)を上限とし、守られていないチームは失格となります。(バイタルチェック表記入必要)※未就学児は含まない。
但し、新型コロナウイルス感染拡大状況により、人数制限が変わることもあります。
- (14)当日配布するネームプレートを着用し、バイタルチェック表に記載している方のみ入場可。
- (15)ホームページに掲載されている、本大会「連絡事項及び注意事項」、「新型コロナウイルス感染防止マニュアル」を参加者全員が熟読してください。

21 個人情報の取り扱いについて

- (1)本大会参加にあたって入手した個人情報は、北海道協会と日本協会が責任をもって共同管理する。
- (2)入手した個人情報は、大会運営に関する業務、ドッジボール関連の情報提供、協会が承認したスポンサーの案内・広告の配布に使用する。
- (3)大会開催のために必要な情報を共催者や運営会社に通知する場合を除き、登録いただいた個人情報を、第三者に開示することは行わない。

22 問い合わせ・申し込み

北海道ドッジボール協会事務局

北海道ドッジボール協会事務局 住所 〒069-0811 江別市錦町 37-5 高橋宅

TEL 080-8296-0152

E-MAIL:weed-ha810@mirror.ocn.ne.jp

HP: <http://www.hdba.server-shared.com>  www.facebook.com/hdba.dodge

本大会は、チームの協力による運営審判及び帯同審判制で行います。本書をご参照のうえ、参加チームは審判員の確保にご協力願います。

1 全国予選の部

- (1)日本協会公認審判員2名以上を運営審判として、審判員氏名を参加申込書に記入し提出願います。
- (2)運営審判員は、大会当日の会場設営にも参加してください。
- (3)当日は、各自体温を測定し、7時までに審判控室に集合してください。
- (4)終日審判業務(主審・副審・線審・記録員・計時員)を行っていただきます。チームとは別行動で、競技委員会審判部作成のアサインメントに従い行動していただきます。

大会開催中は、休憩時間であっても自チームの控え席等には戻ることは出来ません。

- (5)運営審判員には昼食(昼食代)・謝礼を支給します。
- (6)必携品

- ア 審判手帳
- イ 2021-2022 年度版公式ルール&審判テキストブック
- ウ 笛
- エ 日本協会公式審判員ユニフォーム着用
- オ 印鑑(シャチハタ可)
- カ 上靴、筆記用具
- キ **飛沫感染防止の為マスク又はバフ。合わせてフェイスシールドの使用は可(フェイスシールドのみの使用は不可)待機中はマスク着用**

2 全国予選以外の部門

- (1) ルールに精通若しくはルール知識のある方 2 名を、帯同審判として確保・協力願います。
- (2) 当日は 9 時 10 分から行う帯同審判講習会を必ず受講してください。
- (3) 自チームの試合の次の試合に審判(線審)・計時・記録を行っていただきます。
- (4) 帯同審判員には、昼食・謝礼の支給はございません。
- (5) 携帯品(各自で持って来てください)
 - ア 2021-2022 年度版公式ルール&審判テキストブック
 - イ 笛
 - ウ 日本協会公認審判員は、ユニフォーム着用。それ以外は、動きやすい服装(ジーンズ不可)
 - エ 上靴(サンダル、スリッパ不可)
 - オ **飛沫感染防止の為のマスク又はバフ。合わせてフェイスシールドの使用は可(フェイスシールドのみの使用は不可)待機中はマスク着用**
- (6)運営審判のみで開催できると判断した場合は、大会開催1週間程度前にその旨を連絡いたします。
- (7)運営審判として選出いただける方がおりましたら、申し込み用紙にご記入お願い致します。

3 運営・帯同審判共通事項

ホームページに掲載されている「新型コロナウイルス感染防止対策用審判手順マニュアル」を熟読して来てください。

■日本協会公認指導員について

本大会の全国予選の部出場チームは、ベンチ入りする役員は全員(1名のみベンチ入りであればその1名、3名がベンチ入りする場合は3名全員)、日本協会公認指導員である必要がありますので、ご留意願います。

必ず B 級又 A 級公認指導員が1名以上ベンチ入りしてください。

また、有資格者は、2022 年度版の資格者証(日本協会から郵送)を携行し、各試合ごとに審判員等が提示を求めるので提示すること。過年度の資格者証では認められません。

なお、ユニフォーム等確認並びに日本協会公認指導員資格及び身分証明書(免許証の写し、パスポートの写しなど顔写真のあるもの)の確認については、**全試合選手待機場所にて行います。**ただし、予選リーグの第1試合及びトーナメントの初戦においては、コート内にて行います。